

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地													
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地													
学校法人片柳学園		昭和31年7月10日		千葉 茂		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111													
分野	認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士												
文化・教養	芸術専門課程		スポーツ健康学科 テニスコース		平成25年文部科学省認定		—												
学科の目的	日本テニス界のトップ経験のある一流の先生を講師に、技術や戦術、トレーニング法、指導のノウハウまで幅広く学び、将来のテニス界で活躍するさまざまなプロを育成します。2年次から「プレイヤー専攻」と「コーチ・指導者専攻」に分かれ、専門学校屈指の施設環境のもとで専門スキルを身につけます。																		
認定年月日	平成28年2月19日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	1,700	390	1,650	1,575	0	390												
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
160人の内数		11人	1人	1人	2人	3人													
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 S:90点以上 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下不合格 P:単位認定														
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏 季:8月7日～9月9日 ■冬 季:12月26日～1月6日 ■学年末:3月19日～3月31日			卒業・進級 条件	【進級要件】 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 【卒業要件】 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭、現場実習、大会出場 ■サークル活動: 有														
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) ニッケウエルネス株式会社、名古屋グリーンテニスクラブ 他 ■就職指導内容 就職ガイダンス、合同企業説明会、キャリアサポートセンター及び担任との連携サポート、個人面談、業界研究、模擬面接やグループディスカッション ■卒業者数 : 13 人 ■就職希望者数 : 2 人 ■就職者数 : 2 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 15 % ■その他 ・進学 11人 (令和3年度卒業者に関する 令和4年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>テニスC級審判員</td><td>③</td><td>13人</td><td>11人</td></tr><tr><td>ビジネス能力検定</td><td>③</td><td>13人</td><td>13人</td></tr></table> ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 全国専門学校テニス選手権大会 男子団体6連覇 男子シングルス準優勝 男子ダブルス4位			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	テニスC級審判員	③	13人	11人	ビジネス能力検定	③	13人	13人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
テニスC級審判員	③	13人	11人																
ビジネス能力検定	③	13人	13人																

中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 令和3年4月1日時点において、在学者18名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者17名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任と主任／科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。 また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 【片柳学園入学金免除制度】 学校法人片柳学園の設置する学校の卒業生の子女、兄弟姉妹および孫、または在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度 【若きつくりびと奨学金制度】 社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金を給付する制度(成績優秀者特待生・課外活動優秀者特待生・資格特待生・就学支援奨学金・再進学特待生・留学生特待生) 【再入学優遇制度】 日本工学院専門学校または日本工学院八王子専門学校の二年制学科以上の学科を卒業または卒業見込みの方が、本校の他学科への再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除、および審査により授業料等を減免する制度 【留学生特別給付制度】 私費留学生の出願者全員を対象とし、入学選考試験の成績優秀者には進学支援として、入学金の一部または全額を免除する制度 【ミュージシャン特待生】 ミュージックアーティスト科に特待生として出願し、試験に合格された方は、入学費用のうち入学金を免除する制度 【サッカー・テニス特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって以下のいずれかを免除する制度(入学手続時納入金免除、入学費用のうち前期授業料免除、入学費用のうち入学金免除、入学費用のうち入学金の一部を免除) 【スポーツ特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制・スポーツトレーナー科・スポーツトレーナー科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって入学費用のうち入学金または入学金の一部を免除する制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日)受審 http://www.neec.ac.jp/education/accreditation/
当該学科のホームページURL	https://www.neec.ac.jp/department/

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本
テニス業界に関する企業等と連携体制を確保して、プレイヤーとしての競技力向上のための実践経験やコーチやテニスクラブスタッフに必要な人間力を身につけるためのインターン及び実習や業界人として必要な商品知識の習得に関し、適宜ヒアリングを行いカリキュラムに反映させる。そのため、学内外の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導や評価を受ける体制をとることが可能な企業等をスポーツ関連業界より選定している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
井上 剛	公益社団法人 日本プロテニス協会 認定プロフェッショナル	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	①
徳丸 豊	有限会社 フェアリーテニスフォーラム 常務取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
杉山 利昌	有限会社テニスピア・ジュエ 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校 校長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
倉重 明	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
坪井 勇次	日本工学院八王子専門学校 キャリアサポートセンター センター長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
伊藤 茂彦	日本工学院八王子専門学校 科長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月・8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月4日 14:00～16:00

第2回 令和4年3月10日 10:30～12:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

職実の議事録から

コミュニケーション力の高い学生を育成することが必要というご意見をいただき、テニス実技系授業でコミュニケーションを重要視しながら実施。PCスキルに関しては、PCの授業以外で成果発表制作過程での指導を実施。業界理解に関してはスクール・メーカー等の方にご協力頂き特別講演を実施している。現場経験、実践力を高めていく必要があり、その中で工夫や人間性を高める必要があるというご意見から、インターンシップを活用し各学生の現場経験を増やすという取り組みを行う。また、他のコース学生に対しコーチングを行い模擬レッスンとしてコーチングやコミュニケーション力を養う取り組みを行っている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

テニスに関する技能指導テニスプレイヤー・コーチの実務で必要な技能を、実際の企業が必要とする「即戦力の人材」の育成に向けて企業が実施する仕事内容を踏まえて指導する。実際の指導現場を想定した社会人基礎力養成の助言、協力の得られる企業を選定すると合わせ、実際の指導現場を想定して企業において即戦力の人材の育成、社会人基礎力養成の助言、協力の得られる企業を選定する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

テニス演習1において、有限会社テニスプロジェクトとの打ち合わせにより、テニスの特性を理解し、競技者に必要な技術を高め、年齢別に的確な指導ができるよう密に打ち合わせを実施し、練習内容を確認する。
上記企業からの派遣講師が各自毎に必要な技術の洗い出し、技術プラス体力アップの練習を行い、試合に向けて現状の再認識し個人のレベルの向上を目指す。またテニスプレイヤー・コーチに必要な資格や、技能・実習内容や企業との打ち合わせの元作成した独自の評価を設定し、目標を明確にする。企業の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
テニス演習1・2	テニスの特性を理解し年齢別に応じた的確な指導が行えるコーチング力と競技者に必要な技術を養います。テニス演習1の基本をもとに、コーチング力と競技技術を高めます。	(有)テニスプロジェクト
テニス演習3・4	テニススクールにおける実践的なコーチング技術と競技場面において必要とされる技術力を高めます。個人の適正を考慮したコーチングと技術指導が実践できる能力を養います。	(有)テニスプロジェクト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にを行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

1) 研修名「動画作成のコツ」

(連携企業等:コードブック株式会社 執行役員 山本チャーリー一周平)

期間: 令和3年8月4日 10:00-11:30

学生でも出来る動画作成の指導と効果的なPR方法

2) 研修名「学生の学びをPRする方法」

(連携企業等:株式会社 クリーク・アンド社 神田雅章・大石直美)

期間: 令和4年3月28日 15:00-16:30

学生の成長一成果などのPR方法を学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

1) 研修名「学生指導力向上」

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表取締役社長 野本知里)

期間: 令和3年7月28日 15:00-16:30

アンガーマネジメント

2) 研修名「近年の学生指導について」

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表 野本知里)

期間: 令和4年3月25日 10:00-12:00

学生指導のための教員力向上

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

1) 研修名「スポーツ×IoT・ICT」(案)

(連携企業等:テクノジムジャパン株式会社)

期間:7月～9月を予定

健康管理アプリの使用方法和授業への応用

2) 研修名「スポーツ×IoT・ICT」(案)

(連携企業等:テクノジムジャパン株式会社)

期間:12月～3月を予定

HRモニタリング機器の使用と授業への応用

② 指導力の修得・向上のための研修等

1) 研修名「学生指導のための教員力向上」(案)

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表 野本知里)

期間:7月～9月を予定

目標を持たせる・持ち続けるためのアプローチ①

2) 研修名「学生指導のための教員力向上」(案)

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表 野本知里)

期間:12月～3月を予定

目標を持たせる・持ち続けるためのアプローチ②

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 理念・目的・育人人材像
(2) 学校運営	(2) 運営方針(3) 事業計画(4) 運営組織(5) 人事・給与制度(6) 意思決定システム(7) 情報システム
(3) 教育活動	(8) 目標の設定(9) 教育方法・評価等(10) 成績評価・単位認定等(11) 資格・免許取得の指導体制(12) 教員・教員組織
(4) 学修成果	(13) 就職率(14) 資格・免許の取得率(15) 卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16) 就職等進路(17) 中途退学への対応(18) 学生相談(19) 学生生活(20) 保護者との連携(21) 卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22) 施設・設備等(23) 学外実習・インターンシップ等(24) 防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	(25) 学生募集活動(26) 入学選考(27) 学納金
(8) 財務	(28) 財務基盤(29) 予算・収支計画(30) 監査(31) 財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32) 関連法令、設置基準等の遵守(33) 個人情報保護(34) 学校評価(35) 教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36) 社会貢献・地域貢献(37) ボランティア活動
(11) 国際交流	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った自己点検の評価について

評価委員からの主な意見は次のとおりで、それについての活用(対応)方法は以下のとおりとなります。

- ・コロナ禍の予測不能の事態や学生への対応が実に丁寧になされ成果を上げていることが理解できました。理事長を先頭に新たな取り組みも着実に進められていることに敬服します。
- ・SDGsに関連する学校としての取り組み。実質、関連項目や実施している事はあるかもしれないが、説明のなかで「SDGs」という言葉が出てこなかったの、関連する内容には入れても良いと思います。
- ・各分野において情報は常に更新されているので、教職員の方々の知識・情報もアップデートが重要と考えます。月1回の研修の成果・効果を確認するような取組も検討してはいかがでしょうか。
- ・コロナ禍において情報の収集・管理については難しい点も多いと思いますが、校友会・卒業生就職先とのコミュニケーション強化に努めていただければと思います。
- ・既に検討されていることと思いますが、保護者会もオンラインで開催するなど遠方でも参加できるような取組をされてもいいかと思えます(環境によってオンラインが難しい場合などは個別に電話対応など。すでに実施されていたらご容赦下さい)。
- ・コロナ禍及びワクチン接種も個人の考えで必須に出来ない中、日本工学院八王子専門学校様の対応を含めた活動は非常に参考となり、勇気ももたえられるものもありました。政府が明確な線引きをしていない現状では、企業も学校も探りさぐりにはなっていますが、多角的な面で情報交換を行い、この状況を乗り切っていければと思います。
- ・丁寧なご説明有難うございました。コロナ禍において、教育目標に掲げる「スチューデントファースト」を実現することは容易ではないと思いますが、製作室や実習等の新設などの取組によって学生のモチベーションが上がることを期待します。また、私はテレビ技術会社の採用担当として、貴校からの応募者と毎年向き合っておりますが、近年、「どうしてもこの仕事に就きたい」という意気込みを持った学生さんが少なくなったように感じます。実際の現場で必要な技術は学校だけで習得できるものではありませんが、その魅力・楽しさをお伝えいただき、専門職に夢を持った「若きつくりびと」を多く輩出していただきたいと願っております。
- ・教職員の研修も外部のオンライン研修などを活用してはいかがでしょうか。外部のコンテンツを利用することで学内コンテンツを増やすヒントになるのではないかと思います。
- ・コロナ禍において進路決定率が上がったことは素晴らしいことであったが退学率が上がっている学科が気になりました。
- ・株主総会もオンラインの時代ですので保護者会もオンラインで出来たのではないのでしょうか。
- ・工学院の名前に合ったネットワーク、ICT等の環境を整えて上げてください。
- ・時節柄、授業を実施する事や様々な学生支援に工夫をされている事が十分に理解する事が出来、いつものことですが、感心させられる事ばかりでした。今後は、学生への「心のケア」をして頂ければと思います。メンタルトレーニング的なものも取り入れても良いかと思えます。

以上、学校関係者評価委員会において討議された内容を踏まえ、次の4点について検討し活用する。

1. コロナ禍において、教育目標に掲げる「学生中心主義」を教職員一丸となり実行する。
2. 学生・保護者からの要望に応えられるよう、今後とも万全な体制を整える。
3. 質の良い授業(オンライン授業含め)を提供できるよう、教員のスキルアップのための研修等を充実させる。
4. withコロナの新しい時代における高専連携・地域貢献・地域連携を模索していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	卒業生／ IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	デザイン 企業等委員
鈴木 浩之	株式会社田中建設 取締役 建築部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	スポーツ 企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	医療 企業等委員

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 令和4年9月30日

URL:<https://www.neec.ac.jp/public/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価、令和3年度の項目別の自己評価表
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

(3)情報提供方法

ホームページ

URL:<https://www.neec.ac.jp/public/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツ健康学科 テニスコース) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			ビジネススキル1	社会人になるために必要なヒューマンスキルを身につけます。	1・前	30	2	○			○		○		
2	○			ビジネススキル2	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	1・後	30	2	○			○		○		
3	○			PC活用1	マイクロソフト認定Word資格取得に向けて、必要な基礎知識を学びます。	1・前	30	2		○		○			○	
4			○	PC活用2	マイクロソフト認定Word、Excel資格取得に向けて、必要な基礎知識を学びます。	1・後	30	2		○		○			○	
5	○			コーチング概論1	コーチングについてアクティブラーニング形式を中心に学びます。	1・前	30	2		○		○		○		
6	○			コーチング概論2	グッドコーチに求められる医・科学知識や現場・環境に応じたコーチングを学びます。	1・後	30	2		○		○		○		
7			○	解剖学概論	骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経などの構造と機能について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
8			○	コーチ学	スポーツ指導者とは、指導者の心構え・視点、競技者育成プログラムの理念、指導計画の立て方、スポーツ活動と安全管理、スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任などについて学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
9			○	スポーツ医学概論	スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、アスリートの健康管理と内科的障害と対策、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、アンチドーピング、スポーツによる精神障害などについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
10			○	トレーニング科学1	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとIT、体力とは、トレーニングの進め方、トレーニングの種類について学びます。	1・後	30	1	○			○		○		
11			○	栄養学	スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活について学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
12	○			テニス演習1	テニスの特性について理解し、年齢別に応じた的確な指導が行えるコーチング力と競技者に必要な技術を養います。	1・前	180	12		○		○		○	○	○
13	○			テニス強化演習1	テニスの基礎技術・戦術などを実践形式で学びます。	1・前	30	2		○		○		○		
14	○			トレーニング演習1	テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び、実践します。	1・前	30	2		○		○			○	
15	○			HITトレーニング1	科学的な目線から開発されたトレーニングの基礎『HIT』を基にトレーニング方法を実践します。	1・前	30	1			○	○			○	
16			○	アウトドア実習A	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○		○		○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツ健康学科 テニスコース) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
17			○	キャンプインストラクター実習A	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	1・前	30	1			○		○		○	
18			○	コーチングインターンシップA	地域テニススクールなどの現場実習を行います。	1・前	30	1			○		○		○	
19			○	コーチングインターンシップB	地域テニススクールなどの現場実習を行います。	1・後	30	1			○		○		○	
20			○	コーチング実習A	テニススクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。	1・前	30	1			○	○	○	○		
21			○	コーチング実習B	テニススクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。	1・後	30	1			○	○	○	○		
22			○	スポーツ自由研究A	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・前	30	1			○	○	○	○		
23			○	テニス実践実習1	対外試合を通じて、実践的なプレー感を養います。またスタッフ(審判、サポート)として参加し、テニス大会の運営に携わります。	1・前	60	2			○	○	○	○		
24			○	マリンスポーツ実習A	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	1・前	30	1			○	○		○		
25			○	コーチング演習1	テニスを指導するための基本的な考え方を学習します。	1・前	30	2		○			○	○	○	
26			○	短期強化練習1	短期集中の練習計画のもと、技術、体力、精神力の強化方法について学びます。	1・前	60	4		○		○	○	○		
27			○	予防とコンディショニング	コンディションの把握・管理・方法と実際について学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや、環境整備についても学びます。	1・前	30	1			○	○		○	○	
28	○			テニス演習2	テニス演習1の基本をもとに、コーチング力と競技技術を高めます。	1・後	180	12		○		○		○	○	○
29	○			テニス強化演習2	テニスの基礎技術・戦術などを実践形式で学びます。	1・後	30	2		○		○		○		
30	○			トレーニング演習2	テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び、実践します。	1・後	30	2		○		○		○		
31	○			HITトレーニング2	科学的な目線から開発されたトレーニングの基礎『HIT』を基にトレーニング方法を実践します。	1・後	30	1			○	○		○		
32			○	スキー実習A	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・後	30	1			○		○	○	○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツ健康学科 テニスコース) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
33			○	スノーボード実習A	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・後	30	1			○		○	○	○	
34			○	スポーツ自由研究B	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・後	30	1			○	○	○	○		
35			○	テニス実践実習2	対外試合を通じて、実践的なプレー感を養います。またスタッフ(審判、サポート)として参加し、テニス大会の運営に携わります。	1・後	60	2			○	○	○	○		
36			○	短期海外研修A	海外におけるテニス指導者のテクニックからテニスクラブの運営・管理について、講義と実技を通じて学びます。	1・後	60	2			○		○	○		
37			○	短期強化練習2	短期集中の練習計画のもと、技術、体力、精神力の強化方法について学びます。	1・後	60	4		○			○	○		
38			○	スポーツトレーニング実習A	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	60	2			○	○		○		
39			○	スポーツトレーニング実習B	メディカルフィットネスセンターなどを週2回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	120	4			○	○		○		
40			○	社会体育実習A	学外などにおいて現場の実践的な経験を積み、指導者としての資質を高めます。	1・通	60	2			○		○	○		
41			○	日本赤十字社救急法A	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	1・通	30	1			○	○			○	
42			○	キャリアアップセミナーA	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	15	0			○	○			○	
43			○	キャリアアップセミナーB	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	30	1			○	○			○	
44			○	キャリアアップセミナーC	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	45	1			○	○			○	
45			○	キャリアアップセミナーD	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	60	2			○	○			○	
46	○			ビジネススキル3	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・前	30	2	○			○		○		
47	○			ビジネススキル4	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・後	30	2	○			○		○		
48			○	スポーツ経営学	スポーツ組織の運営、スポーツ事業の計画・運営・評価、地域スポーツクラブの機能と役割、広域スポーツセンターの機能と役割、地域におけるスポーツ振興方策と行政の関わり、我が国のスポーツ振興施策について学びます。	2・前	15	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツ健康学科 テニスコース) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
48			○	スポーツ心理学	スポーツと心、スポーツにおける動機づけ、コーチングの心理、メンタルマネジメント、指導者のメンタルマネジメント、スポーツ相談の意義、スポーツ相談の実際、子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
50			○	テニス教師対策1	日本体育協会公認テニス教師取得をめざし、理論を実施します。	2・前	30	2	○			○			○	
51			○	トレーニング科学2	トレーニング理論とその方法、トレーニング計画とその実際、体力テストとその活用、スキルの獲得とその獲得過程、スポーツバイオメカニクスの基礎を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
52			○	健康教育学	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴、発育発達期に多いケガや病気、発育発達期のプログラムなどについて学びます。	2・前	15	1	○			○				○
53			○	テニス教師対策2	日本体育協会公認テニス教師取得をめざし、理論を実施します。	2・後	30	2	○			○			○	
54	○			テニス演習3	テニススクールにおける実践的なコーチング技術と、競技場面において必要とされる技術力を高めます。	2・前	180	12		○		○			○	○
55	○			テニス強化演習3	テニスの基礎技術・戦術などを実践形式で学びます。	2・前	30	2		○		○			○	
56	○			トレーニング演習3	テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び、実践します。	2・前	30	2		○		○			○	
57			○	アウトドア実習B	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○		○		○	○
58			○	キャンプインストラクター実習B	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	2・前	30	1			○		○		○	○
59			○	コーチングインターンシップC	地域テニススクールなどの現場実習を行います。	2・前	30	1			○	○	○			○
60			○	コーチングインターンシップD	地域テニススクールなどの現場実習を行います。	2・後	30	1			○	○	○			○
61			○	コーチング実習C	テニススクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。	2・前	30	1			○	○	○		○	
62			○	コーチング実習D	テニススクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。	2・後	30	1			○	○	○		○	
63			○	コーチング演習2	テニススクールにおける指導理論を演習にて学びます。	2・前	90	6		○		○			○	
64			○	スポーツ自由研究C	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	2・前	30	1			○	○	○		○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツ健康学科 テニスコース) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
65			○	テニス実践実習3	対外試合を通じて、実践的なプレー感を養います。またスタッフ(審判、サポート)として参加し、テニス大会の運営に携わります。	2・前	45	1			○	○	○	○		
66			○	プレイヤー演習1	競技力向上をめざし、技術・戦術のトレーニングを行います。	2・前	90	6		○		○		○		
67			○	マリンス実習B	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	2・前	30	1			○		○	○	○	
68			○	短期強化練習3	短期集中の練習計画のもと、技術、体力、精神力の強化方法について学びます。	2・前	30	2		○		○		○		
69	○			テニス演習4	個人の適正を考慮したコーチングと、技術指導が実践できる能力を養います。	2・後	180	12		○		○		○	○	○
70	○			テニス強化演習4	テニスの基礎技術・戦術などを実践形式で学びます。	2・後	30	2		○		○		○		
71	○			トレーニング演習4	テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び、実践します。	2・後	30	2		○		○		○		
72			○	コーチング演習3	テニススクールにおける指導理論を演習にて学びます。	2・後	60	4		○		○		○		
73			○	スキー実習B	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	2・後	30	1			○		○	○	○	
74			○	スノーボード実習B	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	2・後	30	1			○		○	○	○	
75			○	スポーツ自由研究D	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	2・後	30	1			○	○	○	○		
76			○	テニス実践実習4	対外試合を通じて、実践的なプレー感を養います。またスタッフ(審判、サポート)として参加し、テニス大会の運営に携わります。	2・後	45	1			○	○		○		
77			○	プレイヤー演習2	競技力向上をめざし、技術・戦術のトレーニングを行います。	2・後	60	4		○		○		○		
78			○	短期海外研修B	海外におけるテニス指導者のテクニックからテニスクラブの運営・管理について、講義と実技を通じて学びます。	2・後	60	2			○		○	○		
79			○	短期強化練習4	短期集中の練習計画のもと、技術、体力、精神力の強化方法について学びます。	2・後	30	2		○		○		○		
80			○	インターンシップ	テニススクールなどでインターンシップを経験します。	2・通	45	1			○		○		○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツ健康学科 テニスコース) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
81		○	スポーツトレーニング実習C	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	60	2			○	○		○		
82		○	スポーツトレーニング実習D	メディカルフィットネスセンターなどを週2回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	120	4			○	○		○		
83		○	社会体育実習B	学外などにおいて現場の実践的な経験を積み、指導者としての資質を高めます。	2・通	60	2			○	○	○	○		
84		○	日本赤十字社救急法B	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	2・通	30	1			○	○			○	
85	○		成果発表	在学中に学んだ事を基に成果発表のための企画・準備・運営を実施します。	2・通	60	4		○		○		○		
86		○	キャリアアップセミナーE	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	15	0			○	○			○	
87		○	キャリアアップセミナーF	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	30	1			○	○			○	
88		○	キャリアアップセミナーG	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	45	1			○	○			○	
89		○	キャリアアップセミナーH	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	60	2			○				○	
合計				89科目	4005単位時間(197単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目1290時間(84単位)および選択科目410時間(11単位)以上取得し、合計1700時間(95単位)以上取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週